

市民タイムス

発行所/市民タイムス
本社/〒390-8539松本市大字島立800番地
TEL (0263) / 受付47-7777 編集47-7774 広告48-2000 販売47-4755
FAX (0263) / 受付48-2422 編集47-1654 広告47-8585 販売48-2422
©市民タイムス2024年 支社/安曇野・塩尻 支局/長野・木曽

号外

松本市長 臥雲氏再選



当選を喜び万歳三喝をする臥雲氏(17日午後11時35分、深志神社梅風閣)

開票結果

(選管確定)

当 臥雲 義尚 (無現) 34,070
菱山 晋一 (無新) 33,593
赤羽俊太郎 (無新) 14,983
上條 邦樹 (無新) 2,224
竹内 貴也 (無新) 1,167

◇当日有権者数 男 94,525 女 99,831 計 194,356
◇投票総数 男 41,888 女 44,923 計 86,811
◇有効投票数 86,037 ◇無効 773 ◇持ち帰り 1
◇投票率 (%) 男 44.31 女 45.00 計 44.67

現新5氏が立候補した松本市長選挙は17日に投票が行われ、即日開票の結果、1期目の現職・臥雲義尚氏(60)＝中央3＝が、新人の元信越放送専務・菱山晋一氏(68)＝沢村2＝と477票差の接戦を制して再選を果たした。争点に浮上していた松本パルコ後利用への行政関与の是非や市役所本庁舎建設の方向性について、一定の市民の評価を得られたことになる。投票率は44・67%で前回選を3・71%下回り、過去最低となった。(市長選取材班)

477票差 菱山氏振り切る

臥雲氏は昨年12月の市議会定例会最終日に出走表明した。市内全域に設けた後援会組織と現職の知名度を生かして有利な戦いを展開。最終盤になって、松本パルコ問題に争点を絞った菱山氏に激しく追い上げられたものの、僅差で逃げ切った。

臥雲 義尚 60 無現 ②
市長、松本広域連合長(元NHK解説委員、NHK政治部記者。松本深志高―東京大学法学部卒。中央3)

僅差の勝利 歓喜の渦

「よし！やった！勝った！」。午後11時すぎ、深志神社梅風閣の開票待ち会場に当選確実の報が伝わり、約100人の支援者は歓喜に湧いた。拍手の中登場した臥雲



さんは感極まった表情で支援者と握手し、ステージ上で深々と頭を下げた。告示前の報道では現職リードと伝えられ、街頭でも強い手応えを感じていた。しかし、松本パルコ後利用を巡る対応を他候補に批判され、終盤に猛追された。しかし一喜一憂せず、地域の実情に合わせて実績を丁寧に訴え続けた。「市民一人一人と共感、納得を形作った上で前進を続ける」と決意を述べた。

詳細は3月19日の市民タイムスで

市民タイムス “手にとって読んでみませんか”

購読・試読キャンペーン実施中!!

身近なニュースがいち早くお手元へ
日刊
地域の話題満載!
購読料 月2,700円(消費税込)



お問い合わせは (一社) 日本新聞協会加盟社 市民タイムス 通話料無料0800-800-5559まで webからもお申し込みいただけます 市民タイムス 検索

大接戦 健闘 及ばず



時折笑みを浮かべながら敗戦の弁を述べる菱山さん(17日午後11時23分、浅間温泉1の事務所)

菱山さん「大変残念」

午後11時15分、落選の報が伝わり、浅間温泉1の事務所が集まった支援者から「うそだ」「信じられない」との落胆の声が上がった。現れた菱山さんは「ご支援いただいたが願ひかなわず、大変残念であり、申し訳ない」と悔しさをにじませた。昨年秋に信越放送専務の職を辞し、不転転の決意で

「力不足で期待に応えることができなかった」。午後10時50分すぎ、赤羽さんは落選が確実な情勢と判断し、集まった支援者に頭を下げた。衆議院議員秘書として16年、地域課題と向き合ってきた経験と40代の若さを生かして、長期ビジョンを持つ若者支援や子育て支援などに取り組む姿勢を強調したが、及ばなかった。

赤羽さん「力不足」



支持者に感謝の言葉を語る赤羽さん(17日午後10時52分、野溝木工1の事務所)



敗戦の弁を述べる上條さん(17日午後11時23分、市総合体育館)

上條さん 責任を痛感

上條さんは、開票所の市総合体育館で開票を見守り、午後11時20分、臥雲氏リーダーの開票速報が出た時点で敗戦の弁を述べた。訴えが届かず、力不足を感じている。史上最低の投票率にも責任を痛感する」と語った。



報道陣の取材に応じる竹内さん(17日午後10時16分、自宅前)

竹内さん 投票に感謝

竹内さんは自宅前で取材に応じ、「本当に多くの方に投票してもらった。感謝の気持ち」と述べた。選挙戦で治水・防災への意識を高めたこと、新市長には「河川の課題を市政に反映してほしい」と期待した。

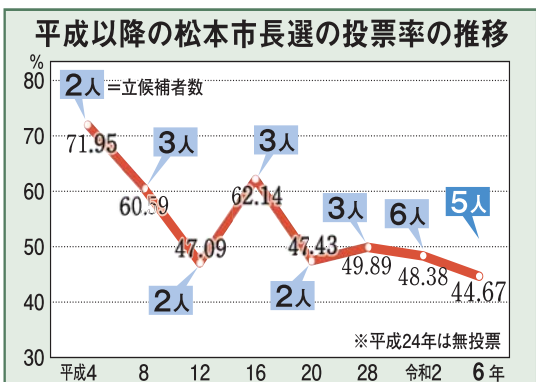
松本市長選

投票率 44.67% 過去最低

政策論争 盛り上がりならず

17日投開票された松本市長選挙の投票率は44・67%（投票者数8万6811人）で、過去最低だった平成12

で、平成20年以降は、無投票だった24年を除いて4回連続となる。今年選挙では、少子高齢化の進展で市の出生数が昨年初めて1500人を切るなど厳しい状況にあっても、政策論争が盛り上がりなかった。特に若い世代の関心を高めるのは難しく、市選挙管理委員会は今回、啓発ポスターや動画制作を通して投票率



戦後歴代の松本市長

主な実績と出来事

松本市長選挙で再選した2期目も中臥雲義尚氏は、1期目の就任早々、新型コロナウイルス感染症対策に迫られ、デジタル化の推進などをたどる。

S22年4月

筒井 直久

警察予備隊(現自衛隊)の招致、競輪場の開設

S26年4月

松岡文七郎

近村13カ村との大合併を実現、新市庁舎の建設に着手

S32年1月

降旗 徳弥

新市庁舎の建設、県営松本空港の開港

S44年3月

深沢 松美

保育所の市営化、児童手当の創設、老人福祉施設の充実

S51年3月

和合 正治

松本駅に駅ビルが完成、松本市を主会場にやまびこ国体開催

S44年3月

有賀 正

長野道全通、松本空港ジェット化開港

H4年3月

菅谷 昭

平成の大合併の実現、全国に先駆けた「健康寿命延伸都市」施策

H16年3月

臥雲 義尚

新型コロナウイルス対応、DX(デジタルトランスフォーメーション)推進

R2年3月

2期目

2期目

3期目

3期目

2期目

3期目

3期目

2期目

3期目

3期目

2期目

3期目

3期目

2期目

3期目

3期目

2期目

3期目

3期目

2期目

3期目

3期目

2期目

3期目